

**製品名: PUM1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02499**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 126 kDa; Observed MW: 140 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PUM1
別名	HsPUM; PUM L1; Pum1; PUMH 1; PUMH; PUMH1; Pumilio1; PUML1
遺伝子 ID	9698
SwissProt ID	Q14671
免疫原	ヒトプミリオ1の合成ペプチド

**背景**

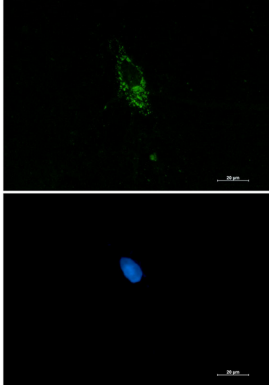
さまざまなメカニズムを介して転写後の転写抑制を媒介します。CCR4-POP2-NOT デアデニラーゼを直接リクルートすることで作用

し、翻訳阻害と mRNA 分解を引き起こします。

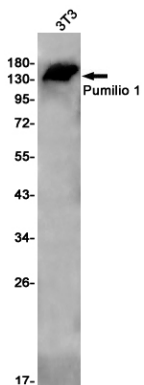
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

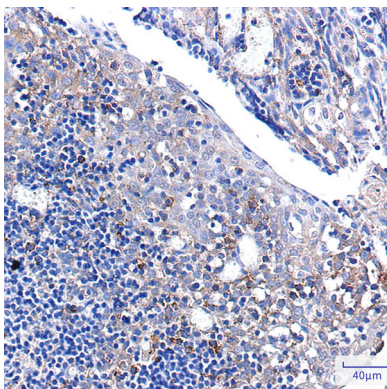
## 画像データ



PUM1 抗体と DAPI (青) を使用した HCT116 の PUM1 (緑) の免疫細胞化学分析。



Pumilio 1 抗体を使用した 3T3 溶解物中の Pumilio 1 のウェスタン ブロット分析。



Pumilio 1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。